

平成24年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	アジア大洋州地域及び北米地域青少年交流 拠出金（任意拠出金）		担当部局庁	アジア大洋州局・南部アジア部 北米局		作成責任者		
事業開始・ 終了(予定) 年度	平成25年度開始		担当課室	地域政策課/北米第一課		伊従誠/吉田朋之		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅶ－2 国際機関を通じた経済及び社会分野に係る国際貢 献				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条、外務省組織令第39条		関係する計画、 通知等	－				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	アジア大洋州地域及び北米地域との青少年交流事業を積極的に展開することにより、我が国の強みや魅力、すなわち日本ブランドを発信し、 日本的な「価値」への国際的理解を増進する。また、これにより、東日本大震災によりもたらされた国際的風評被害を乗り越え、我が国の国際 的なプレゼンスを高める。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	アジア大洋州地域及び北米地域との青少年交流事業。積極的に展開することにより、我が国の強みや魅力、すなわち日本ブランドを発信し、 日本的な「価値」への国際的理解を増進する。また、これにより、東日本大震災によりもたらされた国際的風評被害を乗り越え、我が国の国際 的なプレゼンスを高める。更に、両地域の質の高い若者との双方向の交流プログラムを推進することにより、我が国の若者の国際的視野を涵 養し、将来的に豊かな語学力・コミュニケーション能力等を身につけ、国際的に活躍できるグローバル人材へと成長する契機を提供する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	－	－	－	－	6,562	
		補正予算	－	－	－	－		
		繰越し等	－	－	－	－		
		計	－	－	－	－		
	執行額		－	－	－			
	執行率（％）		－	－	－			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	WEBページやソーシャルネットワーク等を通じた 情報発信		成果実績	回	－	－	－	600
			達成度	％	－	－	－	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	招へい者数及び派遣者数		活動実績 (当初見込 み)	人	－	－	－	14,700
					－	－	－	14,700
単位当たり コスト	◆全体金額÷全体人数 (6,562,403,000÷14,700人 =446,421円)		算出根拠	目標人数は各在外公館へのヒアリングや、各国政府との間で実施され ている、又は行われるべき事業等を勘案し、人数を計上したもの。				
平成 24・ 25 年度 予算 内 訳 (単位:百万円)	費 目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	アジア大洋州地域及 び北米地域青少年交 流拠出金	－	6,562	日本再生戦略に関する「重点要求」(人材育成戦略):6,562百万円				
計			6,562					

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		我が国の国益を最大化のため、自らが位置し我が国にとって重要なアジア大洋州地域において、柔軟な精神を有する青少年間の交流を促進するもの。同地域の若者の間において我が国への関心や親近感を高め、将来的な親日派・知日派として取り込む。我が国の最も重要な外交政策を支える土台を拡充する上で不可欠であり、国が実施すべき事業。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		過去行ってきた青少年事業の経費を参考に、必要最低限の費用、必要な費用項目のみを計上している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		青少年の交流により、柔軟な精神を有する青少年間の交流の促進を通じ、両地域の若者の間において我が国への関心や親近感を高め、良好な対日イメージを形成し、将来的な親日派・知日派として取り込むことは、我が国の最も重要な外交政策を支える土台を拡充する上で不可欠。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
		※類似事業名とその所管部局・府省名 内閣府 日中・韓親善交流事業		
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			
点検結果	アジア大洋州地域及び北米地域との青少年交流事業を積極的に展開することにより、我が国の強みや魅力、日本ブランドを発信し、日本的な価値への国際的理解を増進する。また、両地域の質の高い若者との双方向の交流プログラムを推進することにより、我が国の若者の国際的視野を涵養し、将来的に豊かな語学力・コミュニケーション能力を身につけ、国際的に活躍できるグローバル人材を確保する上で、最も有効的な手段である。 経費については、過去の青少年事業を参考に必要最低限のみの費用を算出し、コストの削減に努めている。			
予算監視・効率化チームの所見				
		—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー			平成23年行政事業レビュー	